

中野市の魅力発信

～みんなで食べよう中野市の食～



COPYRIGHT

魅力あるまちづくり若者会議

チーム 農業


JA中野市農協青年部 高橋 一隆

JA中野市農協女性部 小林 千枝

(公社)中野青年会議所 山浦 直人

今、注目する中野市の財産

農業



中野市は夜間瀬川の扇状地として水はけの良い土地であり、寒暖の差があるため、果樹栽培に適している。また、長野盆地の北端にあたる「延徳田んぼ」と呼ばれる田園風景が広がっている。

えのき茸、ぶなしめじ、ぶどう、りんご、アスパラガスなど全国有数の生産量である。

• **中野市は農産物を栽培するにはとても良い環境である。**



しかし、農業が盛んな中野市であっても

- ・高齢化問題
- ・後継者、農業生産者の不足
- ・燃料、資材等の高騰など

数々の問題により農業を辞め、農地の縮小する農家が増え**荒廃地**が年々増加している現状である。

農業をどう活用するか？

私たちが考えたのは

1. 荒廃地を利用した市民農園の提供
2. 観光を利用した農業体験
3. 若者農業研修制度



市民農園の提供 1



中野市民対象（年間契約）

- ① 荒廃地を利用し中野市民に貸出す。
- ② 中野市農業委員会に荒廃地所有者が登録を行う。
- ③ 農地の賃貸契約は利用者と中野市農業委員会で行う。
- ④ 登録農地は更地（抜根済み）であること。
- ⑤ 畑冠設備のある農地は水代として契約金に乗せできる。
- ⑥ 畑の管理は契約者が行い、野菜、花等栽培でき、樹木は植えない。
- ⑦ 契約者は第三者へ貸出は禁止とする。


市民農園の提供 2

中野市内及びその周辺地域対象

①野菜作りの講習会開催

- ・ 野菜作りに自信がない方や興味のある方を集め講習会を開催
- ・ 年間カリキュラムを作成しに講習会は有料で開催を行う。
- ・ 講習会費は講習者の賃金や資材にあてる。

②収穫した野菜を販売できる販売所（ルート）を提供する。



市民農園の課題

- 中野市農業委員会の協力
- 農家の協力
- 農地の確保、駐車場確保、立地条件
- 賃貸料金選定
- 広報の方法及び広報に伴う費用
- 講習会を行う指導者及びスタッフの確保

観光を利用した農業体験

・対象者として

①長野県外者

首都圏の家族、女性、大学生など

②団体の集客として

首都圏の学校…社会見学の一環として農業体験をして頂く



また、中野市内の学校にも農業体験を行って頂きたい

観光を利用した農業体験

10

①収穫体験ではなく、農作業を体験して頂く。

【内容】

- ・ 体験作物の収穫までの作業工程の説明
- ・ 種まき体験…そば、大豆、野沢菜
- ・ 袋かけ体験…ぶどう、なし、洋ナシ、もも
- ・ 葉摘み体験…りんご
- ・ 花摘み、受粉体験…りんご、なし
- ・ 田植え、稲刈り体験
- ・ きのこと工場の見学
- ・ 味噌、醤油造り体験
- ・ 漬物体験など



観光を利用した農業体験

農業体験の年間スケジュール

月	内 容
1月～3月	きのこ工場、加工品造り体験
4月～5月	花摘み・受粉作業体験、加工品造り体験等
6月～8月	袋かけ・田植え・種まき体験、加工品造り体験等
9月～11月	りんごの葉摘み・稲刈り体験、加工品造り体験等
12月	きのこ工場、加工品造り体験等

※加工品・・・味噌・醤油造り、漬物の漬け方、なめ茸造り方など、その月ごと収穫できる食材を利用して体験して頂く。

観光を利用した農業体験

農業体験をしたあとには

- 中野市内並び近郊の温泉施設に宿泊
- 中野市内観光施設を見学
 - ①中山晋平、高野辰之記念館の見学
 - ②日本土人形資料館で土びなの絵付け体験
 - ③6月の時期には一本木公園のバラまつりを見学
 - ④市内の酒蔵、味噌、醤油店を見学
 - ⑤農産物直売所にてお買い物
 - ⑥中野市の飲食店のご協力のもとご地元の食材を使用した食事の提供
 - ⑦その他中野市の魅力を感じて頂ける場所へ

**特典として
体験を行った農産物を
プレゼント
(収穫時期に郵送する)**



観光を利用した農業体験の課題

- 農家の協力
- 料金選定
- 広報の方法及び広報に伴う費用
(旅行代理店との契約等)
- 講習会を行う指導者及びスタッフの確保
- 中野市飲食店、商業施設等の協力
- 管理運営をどのようにするか？

若者農業研修制度

14

・対象者は

- ①就職活動中の学生
- ②仕事として何をして良いか悩んでいる方
- ③就農を目的に中野市に移住を考えている方

・内容

- ①週末、長期休みを利用した研修から最大2年間の長期研修まで
- ②研修先（農家）は研修者へ労働賃金を支払う
- ③中野市は研修先（農家）へ補助金を支給する
- ④宿泊については中野市が補助する。（空家の提供など）
- ⑤現在中野市で行っている支援制度をもう一度見直し活用して頂ける用に広報活動をしていく

※規定を定め補助金の不当請求がないようにする。

若者農業研修制度

15

・研修終了後

①中野市に移住して農業に従事するものに限り補助を支給

- ・就職祝い金支給
- ・農地の貸出に伴う補助
- ・住居への補助金
- ・農業資材、機械に対して補助

※規定を定め補助金の不当請求がないようにする。




若者農業研修制度の課題

- 農家研修先の協力
- 中野市やJAの協力
- 定住先、宿泊先の確保
- 労働賃金の支払いについて
- 冬期間の研修について
- 広報の方法及び広報に伴う費用

結 果

17

・荒廃地を利用した市民農園の提供



荒廃地の有効利用に繋がり、将来的に
趣味でつくった農産物の販売ルートを確
保することで、第2種兼業農家の増加に繋がり
新しい農業産業が生まれる。

結 果

・観光を利用した農業体験

中野市の農業を体験した結果、その農産物を目的に

「また食べたい！また行きたい！中野市」
が生まれ

農業と観光を組み合わせたことでも新たな中野市を発見できる

結 果

19

・若者農業研修制度



就農しやすい環境が整うことで農業生産者の増加に繋がり中野市への定住者が増える

最終目的

中野市の「食」を地域内外に発信して中野市の魅力を感じて頂くことで

中野市に行こう！



中野市産業の活性化